

令和4年3月28日

令和3年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 大学院医学系研究科
神経病態内科学
氏 名 富本秀和

| | |
|-------|---|
| 活動テーマ | 地域における認知症患者の早期診断と地域包括ケアへの紐付の試み |
| 実施期間 | 令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月 31日 |
| 活動内容 | <p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>本事業では、平成28年～令和2年度で、レセプトデータから認知症が疑われるが、介護保険の利用歴のない患者を同定し、その背景を明らかにした。対象期間内で地域包括ケアへの紐づけない対象者を抽出し、合同会社たまきあい個別訪問を実施し生活状況の把握を行った。その後は、玉城町地域包括支援センターや合同会社たまきあいを通じて、サロンや介護予防教室などの参加の働きかけを行った。また、認知症支援体制のひとつで、チームオレンジの立ち上げの後方支援として、サポーターさくらおよびチームオレンジのチーム員を対象に、令和4年3月に「玉城町認知症サポーター情報交換会」を開催し、地域の支援者の対応力向上のための研修会を開催した。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）</p> <p>個別訪問後は、包括ケアに紐づけされていない患者14名が抽出され、このうち3名が地域包括支援センターの支援につながり、地域活動への参加の声掛けを行っている。具体的な支援介入があった方、支援までつながらなかった方を含め、訪問にて生活実態把握を行う予定であった。しかし、コロナ感染拡大の状況から今年度の個別訪問は困難な状況となったため、個別の電話連絡で相談体制を補完した。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況</p> <p>コロナ感染拡大の影響下で、対面での打合せ等に行えない現状であったため、WEB会議とメールで三重大学、合同会社たまきあい、サポーターさくら、玉城町役場のスタッフ間の連携を進めた。3月23日にはサポーターさくらを中心としたメンバーを集め、対面での情報交換会を開催した。</p> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり</p> <p>・水谷あかね, 田部井賢一, 加藤奈津子, 野口美枝, 西村美紀子, 中川泰成, 西野珠代, 吉丸公子, 佐藤正之, 富本秀和. レセプトデータを利用した, 介護サービス利用歴のない認知症患者の把握と介入の取組み 第39回日本認知症学会学術集会 2020.10.26-28 名古屋・web</p> |

・新堂晃大. 「三重県基幹型認知症疾患医療センターの活動報告」第8回認知症疾患医療センター 全国研修会三重大会 2021. 1. 15-16

(5) イベント等開催実績 (名称, 実施場所, 参加人数等)

玉城町・認知症サポーター情報交換会

日時: 2022年3月23日(水) 10:00~12:00

会場: 玉城町保健福祉会館ホール

参加人数: 33名

(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

レセプトデータ解析の取組は過去に2回行っており、レセプトデータの解析から、7名が地域包括支援センターの支援介護サービス利用につながった。玉城町では今年度、サポーターさくらのメンバーが認知症支援体制のひとつである「チームオレンジ」に関するオレンジチューターの資格を取得して立ち上げを行ったこともあり、チーム員を対象とした認知症研修会を実施し、チームオレンジの立ち上げの後方支援を行った。

○本報告書は、活動実施期間終了後当該年度内に社会連携チームに提出してください。
※Web掲載が可能な活動内容の記録写真等があれば、適宜、本報告書に貼付して提出願います。

令和4年3月23日玉城町認知症サポーター—情報交換会の様子

◆講演会



◆グループワーク

